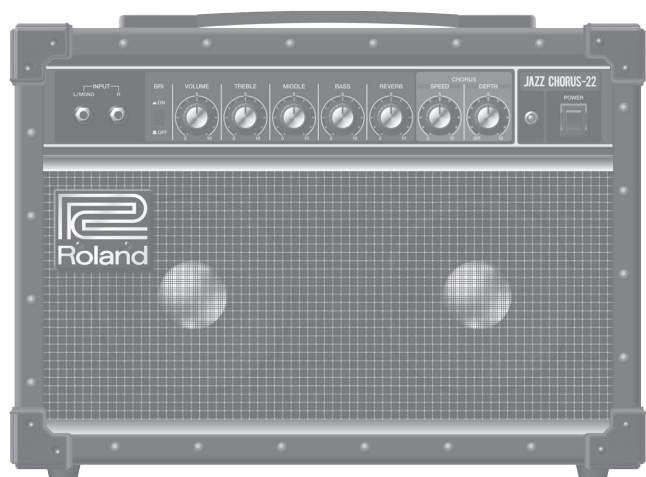




取扱説明書

GUITAR AMPLIFIER

JAZZ CHORUS

JC-22

English

日本語

Deutsch

Français

Italiano

Español

Português

Nederlands

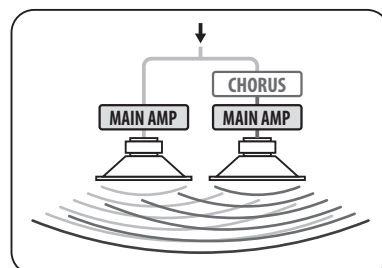
主な特長

JC-22 は透明感のあるクリーン・トーンでギターの持ち味をストレートに表現する、30W のステレオ入出力ギター・アンプです。

- フロント・パネルにステレオ・エフェクターを直接つないで、アンプ1台でステレオ効果を楽しめるユニークなステレオ入力仕様です。
- 空間合成方式（ダイレクト音とエフェクト音を空間で合成すること）による立体的で美しいコーラス効果が楽しめます。
- トーン・スタック・タイプの3バンドEQに加えて、ブライツ・スイッチを装備、豊かなトーン・セッティングが楽しめます。
- 2つの独立したパワー・アンプとカスタム設計の6.5インチスピーカーを2本搭載し、ステレオ効果を実現しました。
- エンクロージャーは、コーナー・プロテクターに加えてエッジ部に硬化ファイバーを採用した堅ろうで耐久性の高い設計です。
- 別売のフットスイッチを接続すると、コーラス、リバーブのオン／オフを足元でコントロールできます。

空間合成方式のコーラス

完全に独立した2系統のアンプとスピーカーのうち、片方のアンプとスピーカーはギターから送られたままのダイレクトな音を、もう片方のアンプとスピーカーは微妙にピッチをゆらせた音を出力します。これらを空間で合成することにより、柔らかく立体的に広がり、しかも温かみと厚みがある、ナチュラルな効果が得られます。



安全上のご注意

本機を正しくお使いいただくために、ご使用前に「安全上のご注意」(P.2)と「使用上のご注意」(P.3)をよくお読みください。お読みになったあとは、すぐに見られるところに保管しておいてください。

© 2016 ローランド株式会社

安全上のご注意

マークについて

本機に表示されているマークには、次のような意味があります。

	注意 感電の恐れがあります。 キャビネットをあげないでください。	
注意： 感電防止のため、パネルやカバーをはずさないでください。本機の内部には、お客様が修理／交換できる部品はありません。 修理は、お買い上げ店またはローランドお客様相談センターに依頼してください。		



このマークは、本機の内部に絶縁されていない「危険な電圧」が存在し、感電の危険があることを警告しています。



このマークは、注意喚起シンボルです。取扱説明書などに、一般的な注意、警告、危険の説明が記載されていることを表しています。

火災・感電・傷害を防止するには

△警告と△注意の意味について

 警告	取り扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表しています。
 注意	取り扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される内容を表しています。 ※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を表しています。

図記号の例

	△は、注意（危険、警告を含む）を表しています。具体的な注意内容は、△の中に描かれています。左図の場合は、「一般的な注意、警告、危険」を表しています。
	⊘は、禁止（してはいけないこと）を表しています。具体的な禁止内容は、⊘の中に描かれています。左図の場合は、「分解禁止」を表しています。
	●は、強制（必ずすること）を表しています。具体的な強制内容は、●の中に描かれています。左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜くこと」を表しています。

以下の指示を必ず守ってください

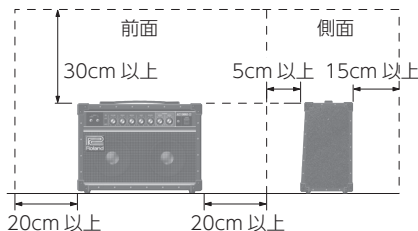
警告

完全に電源を切るときは、コンセントからプラグを抜く

電源スイッチを切っても、本機は主電源から完全に遮断されてはいません。完全に電源を切る必要があるときは、本機の電源スイッチを切ったあと、コンセントからプラグを抜いてください。そのため、電源コードのプラグを差し込むコンセントは、本機にできるだけ近い、すぐ手の届くところのものを使用してください。

スペースを確保して設置する

本機は多少発熱するため、下記のスペースを確保して使用してください。



分解や改造をしない

取扱説明書に書かれていないことはしないでください。故障の原因になります。

個人で修理や部品交換はしない

必ずお買い上げ店またはローランドお客様相談センターに相談してください。

警告

次のような場所で使用や保管はしない

- ・温度が極端に高い場所（直射日光の当たる場所、暖房機器の近く、発熱する機器の上など）
- ・水気の近く（風呂場、洗面台、濡れた床など）や湿度の高い場所
- ・湯気や油煙が当たる場所
- ・塩害の恐れがある場所
- ・雨に濡れる場所
- ・ほこりや砂ぼこりの多い場所
- ・振動や揺れの多い場所
- ・風通しの悪い場所

不安定な場所に設置しない

転倒や落下によって、けがをする恐れがあります。

電源プラグは AC100V の電源コンセントに差し込む

電源プラグは、必ず交流（AC）100V の電源コンセントに差し込んでください。

付属の電源コードを使用する

電源コードは、必ず付属のものを使用してください。また、付属の電源コードを他の製品に使用しないでください。

警告

電源コードを傷つけない

火災や感電の原因になります。

大音量で長時間使用しない

大音量で長時間使用すると、難聴になる恐れがあります。万一、聴力低下や耳鳴りを感じたら、直ちに使用をやめて専門の医師に相談してください。

異物や液体を入れない、液体の入った容器を置かない

本機に、異物（燃えやすいもの、硬貨、針金など）や液体（水、ジュースなど）を絶対に入れないでください。また、この機器の上に液体の入った容器（花瓶など）を置かないでください。ショートや誤動作など、故障の原因となることがあります。

異常や故障が生じたときは電源を切る

次のような場合は、直ちに電源を切って電源コードをコンセントから抜き、お買い上げ店またはローランドお客様相談センターに修理を依頼してください。

- ・電源コードが破損したとき
- ・煙が出たり、異臭がしたりしたとき
- ・異物が内部に入ったり、液体がこぼれたりしたとき
- ・機器が（雨などで）濡れたとき
- ・機器に異常や故障が生じたとき

お子様がけがをしないように注意する

お子様のいる場所で使用する場合や、お子様が使用する場合、必ず大人のかたが、監視／指導してあげてください。

落としたり、強い衝撃を与えたりしない

破損や故障の原因になります。

タコ足配線はしない

発熱、発火する恐れがあります。

海外でそのまま使用しない

海外で使用する場合は、お買い上げ店またはローランドお客様相談センターに相談してください。

電源コードのアースを確実に取り付ける

電源コードのアースを確実に取り付けてください。感電の恐れがあります（P.5）。

⚠ 注意

電源コードはプラグを持って抜く

断線を防ぐため、必ずプラグを持って電源コードを抜いてください。



電源プラグを定期的に掃除する

電源プラグとコンセントの間にゴミやほこりがたまると、火災や感電の原因になります。



定期的に電源プラグを抜き、乾いた布でゴミやほこりを拭き取ってください。

長時間使用しないときは電源プラグを抜く

万一故障したとき、火災の原因になります。



⚠ 注意

電源コードやケーブルは煩雑にならないように配線する

足に引っかけると、本機の落下や転倒などにより、けがの原因になることがあります。



上に乗ったり、重いものを置いたりしない

転倒や落下によって、けがをする恐れがあります。



濡れた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因になります。



移動するときはすべての接続をはずす

本機を移動するときは、電源プラグをコンセントから抜き、外部機器との接続をはずしてください。



⚠ 注意

お手入れするときは電源プラグをコンセントから抜く

コンセントから抜いておかないと感電の原因になります。



落雷の恐れがあるときは電源プラグをコンセントから抜く

コンセントから抜いておかないと故障や感電の原因になります。



English

日本語

Deutsch

Français

Italiano

Español

Português

Nederlands

使用上のご注意

電源について

- 本機を、インバーター制御の製品やモーターを使った電気製品（冷蔵庫、洗濯機、電子レンジ、エアコンなど）と同じコンセントに接続しないでください。電気製品の使用状況によっては、電源ノイズで本機が誤動作したり、雑音が発生したりすることがあります。電源コンセントを分けることが難しい場合は、電源ノイズ・フィルターを取り付けてください。

設置について

- 本機の近くにパワー・アンプなどの大型トランスを持つ機器があると、ハム（うなり）を誘導することがあります。この場合は、本機との間隔や方向を変えてください。
- 本機をテレビやラジオの近くで動作させると、テレビ画面に色ムラが出たりラジオから雑音が出たりすることがあります。この場合は、本機を遠ざけて使用してください。
- 本機の近くで携帯電話などの無線機器を使用すると、着信時や発信時、通話時に本機から雑音が出る場合があります。この場合は、無線機器を本機から遠ざけるか、電源を切ってください。
- 極端に温湿度の違う場所に移動すると、内部に水滴が付く（結露する）ことがあります。そのまま使用すると故障の原因になります。数時間放置して、結露がなくなってから使用してください。
- 設置条件（設置面の材質、温度など）によっては、本機のゴム足が設置した台などの表面を変色または変質させることがあります。
- 本機の上に液体の入った容器などを置かないでください。また、表面に付着した液体は、速やかに乾いた柔らかい布で拭き取ってください。

お手入れについて

- 変色や変形の原因となる、ベンジン、シンナー、アルコール類は使用しないでください。

修理について

- お客様が本機または付属品を分解（取扱説明書に指示がある場合を除く）、改造された場合、以後の性能について保証できません。また、修理をお断りする場合もあります。
- 当社では、本機の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打切後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。なお、保有期間を過ぎたあとも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店、またはローランドお客様相談センターにご相談ください。

その他の注意について

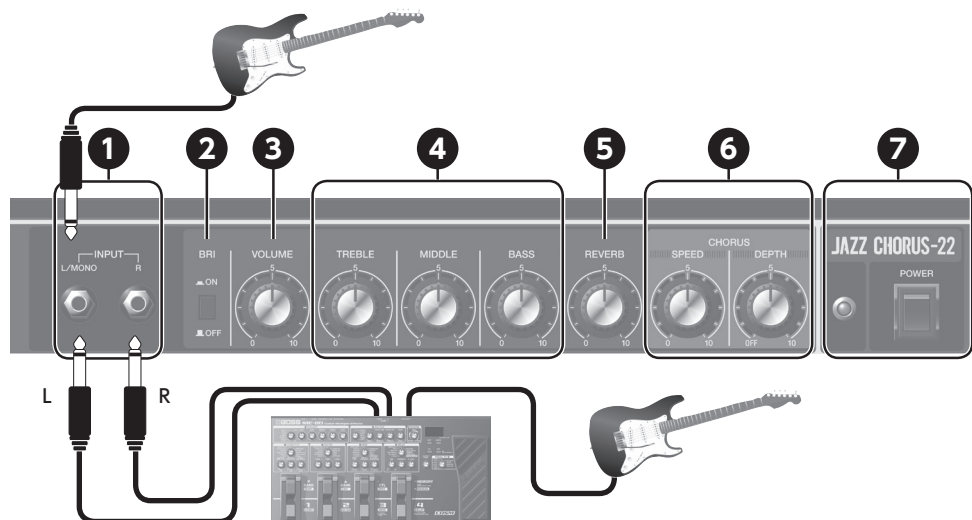
- 故障の原因になりますので、ボタン、つまみ、入出力端子などに過度の力を加えないでください。
- ケーブルを抜くときは、ショートや断線を防ぐため、プラグ部分を持って引き抜いてください。
- 本機は多少発熱することがありますが、故障ではありません。
- 周囲に迷惑がかからないように、音量に十分注意してください。
- 本機が入っていた梱包箱や緩衝材を廃棄するときは、各地域のゴミの分別基準に従ってください。
- 抵抗入りの接続ケーブルは使用しないでください。

知的財産権について

- Roland、BOSS、JAZZCHORUS は、日本国およびその他の国におけるローランド株式会社の登録商標または商標です。
- 文中記載の会社名および製品名は、各社の登録商標または商標です。

各部の名称とはたらき

フロント・パネル



1 INPUT 端子

エレキ・ギターやエフェクターをつなぎます。ギターを直接つなぐときや、モノラルのエフェクターをつなぐときは L/MONO 端子に接続してください。ステレオ出力のエフェクターをつなぐと、本体の左右のスピーカーでステレオ効果が得られます。

※ R 端子にギターを接続すると、右側のスピーカーのみが鳴ります。

2 [BRI] (Bright) スイッチ

中・高音域をきらびやかにし、音の歯切れをよくします。

3 [VOLUME] つまみ

音量を調節します。

4 [TREBLE] / [MIDDLE] / [BASS] つまみ

高音域、中音域、低音域の音量をそれぞれ調節します。

5 [REVERB] つまみ

リバーブのかかり具合を調節します。

6 CHORUS

JC-22 は空間合成方式のコラス効果を備えています。

[SPEED] つまみ

コーラスの揺れの速さを調節します。

[DEPTH] つまみ

コーラスの揺れの大きさを調節します。「OFF」にするとコーラスはかかりません。

7 [POWER] スイッチ

本体の電源をオン／オフします。電源をオンにすると、インジケータが点灯します。

電源を入れる／切る

1. 本機の [VOLUME] つまみと、本機に接続されている機器の音量が、0 になっていることを確認します。

※ 本機の INPUT 端子に接続するときは、[VOLUME] つまみを最小（左いっぱい）にしてください。

2. 本機の電源を入れます。

※ 電源を入れる／切るときは、音量を絞ってください。音量を絞っても電源を入れる／切るときに音がすることがありますが、故障ではありません。

3. 接続されている機器の電源を入れます。

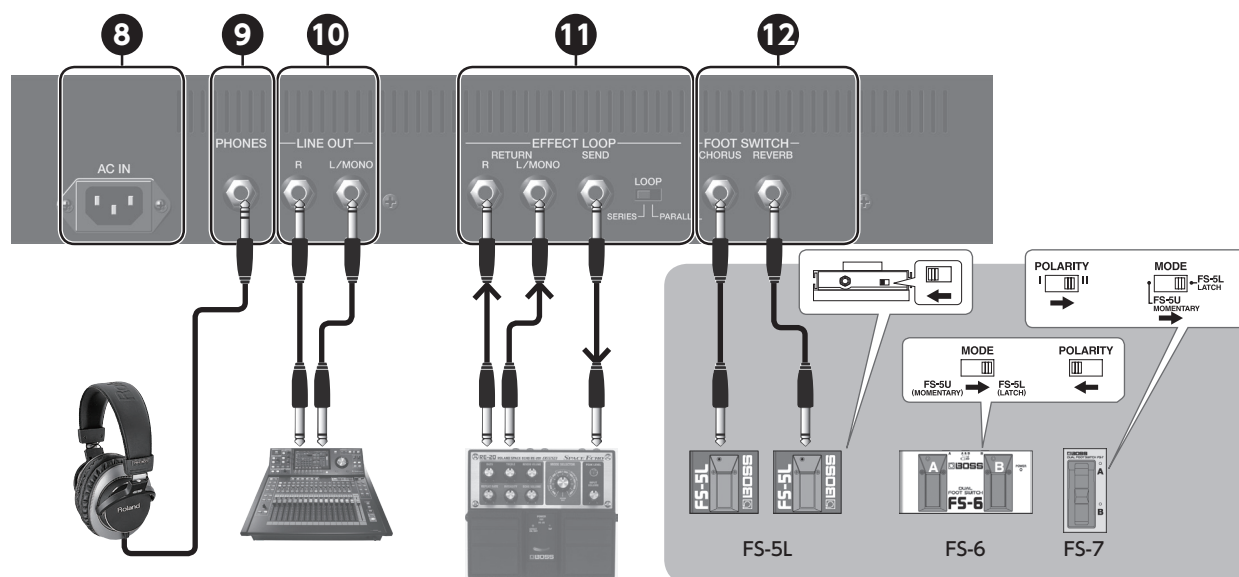
4. 各機器の音量を調節します。

電源を切るときは、接続している他の機器の音量を絞ってから、電源を入るときと反対の手順で電源を切ります。

※ 完全に電源を切る必要があるときは、本機の電源スイッチを切ったあと、コンセントからプラグを抜いてください。詳しくは「完全に電源を切るときは、コンセントからプラグを抜く」(P.2) をお読みください。



リア・パネル



8 AC IN 端子

付属の電源コードを接続します。

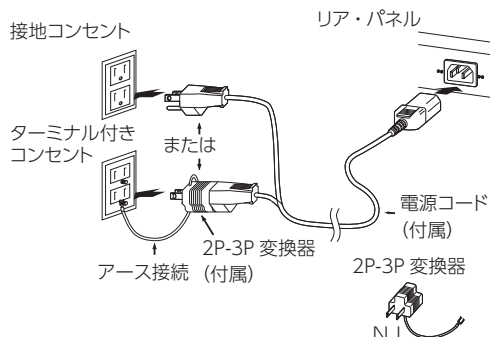
※ 電源コードは必ず付属のものを使用してください。

電源コードの接続



感電を防ぐために付属の電源コードを使用し、アースを確実に取り付けてください。

付属の電源コードには、感電と機器の損傷を防ぐためにアース用電極端子を加えた 3 端子のプラグがついています。



- コンセントが接地コンセント（端子穴が 3 個）の場合
そのままコンセントにプラグを差し込んでください。
- コンセントがアースターミナル付きコンセント（端子穴が 2 個）の場合
プラグに 2P-3P 変換器を付け、アース接続後コンセントに差し込みます。
※ アースは必ず、電源プラグをコンセントに差し込む前に接続してください。
※ アースは必ず、電源プラグをコンセントから抜いてからはずしてください。
コンセントにアース端子がない場合は、電気工事に接地工事を依頼してください。

9 PHONES 端子

ヘッドホン接続します。

※ この端子にプラグを接続したときは、本体スピーカーからは音が出ません。

10 LINE OUT 端子

PA システムやレコーダーなどの機器を接続します。

外部の PA システムと組み合わせたり、本体のスピーカーからの音をモニターしながら演奏をライン録音したりすることができます。

モノラルで使うときは L/MONO 端子に接続してください。

※ コーラスがオンのときにステレオで接続すると、空間合成方式（L:ダイレクト音、R:エフェクト音）のコーラス効果が得られます。

11 EFFECT LOOP SEND / RETURN 端子

外部エフェクターを接続します。

SEND 端子に外部エフェクターのインプットを、RETURN 端子に外部エフェクターのアウトプットを接続します。

ステレオ出力のエフェクターをつなぐと、本体の左右のスピーカーでステレオ効果が得られます。モノラルのエフェクターを接続するときは L/MONO 端子に接続してください。

※ R 端子のみに接続すると、スピーカー、LINE 端子、PHONES 端子からは音が出ません。

※ RETURN 端子から入力された音にはフロント・パネルの ②～④の操作は効きません。②～④の効果を有効にするときは、フロント・パネルの INPUT (L/MONO, R) 端子に接続してください。

※ 他の機器と接続するときは、誤動作や故障を防ぐため、必ずすべての機器の音量を絞る、すべての機器の電源を切ってください。

[LOOP] スイッチ

「PARALLEL」にすると、外部エフェクト音とダイレクト音がミックスされます。

「SERIES」にすると、外部エフェクト音のみになります。

※ 「SERIES」に設定しているとき、外部エフェクターの音量が絞られていたり、電源が入っていないと音が出ません。

➔ EFFECT LOOP SEND / RETURN 端子、[LOOP] スイッチについて、詳しくは巻末の「Block Diagram」（ブロック図）をご覧ください。

12 FOOT SWITCH 端子

別売のフットスイッチ（BOSS FS-5L、FS-6、FS-7）を接続すると、コーラス、リバーブのオン/オフを足元でコントロールできます。

※ 本機はラッチ・タイプのフットスイッチ（FS-5L、FS-6、FS-7）に対応しています。FS-6、FS-7 使用時は A、B のモードを FS-5L（LATCH）に設定してください。

※ FS-6、FS-7 使用時は、A 端子、B 端子に標準プラグ（モノラル）を接続してください。

※ FS-6 の A&B 端子を使用するときは、ステレオ標準プラグ ↔ 標準プラグ（モノラル）× 2（別売：PCS-31L など）を使用してください。

主な仕様

ローランド JC-22 : ギター・アンプ

定格出力	30W
規定入力レベル	INPUT L/MONO、R 端子 : -10dBu (1M Ω) EFFECT RETURN L/MONO、R 端子 : -10dBu (22k Ω) EFFECT RETURN L/MONO のみ接続時 : -10dBu (11k Ω)
スピーカー	16cm (6.5 インチ) × 2
コントロール	[POWER] (電源) スイッチ [BRI] (Bright) スイッチ [VOLUME] つまみ [TREBLE] つまみ [MIDDLE] つまみ [BASS] つまみ [REVERB] つまみ [SPEED] つまみ [DEPTH] つまみ [EFFECT LOOP] スイッチ
インジケーター	POWER
接続端子	INPUT L/MONO、R 端子 : 標準タイプ LINE OUT L/MONO、R 端子 : 標準タイプ PHONES 端子 : ステレオ標準タイプ FOOT SWITCH (CHORUS、REVERB) 端子 : 標準タイプ EFFECT LOOP SEND 端子 : 標準タイプ EFFECT LOOP RETURN L/MONO、R 端子 : 標準タイプ AC IN 端子
電源	AC100V (50 / 60Hz)
消費電力	43W
外形寸法	461 (幅) × 239 (奥行) × 338 (高さ) mm
質量	12kg
付属品	取扱説明書 電源コード 2P-3P 変換器 保証書 ローランド ユーザー登録カード
別売品	フットスイッチ : BOSS FS-5L、FS-6、FS-7 アンプ・スタンド : BOSS BAS-1

※ 0dBu = 0.775Vrms

※ 本書は、発行時点での製品仕様を説明しています。最新情報についてはローランド・ホームページをご覧ください。

お問い合わせの窓口



ホームページをご覧ください

Q&A、チャットサポート、メール、電話でのお問い合わせ

Roland製品

https://roland.cm/roland_support



BOSS製品

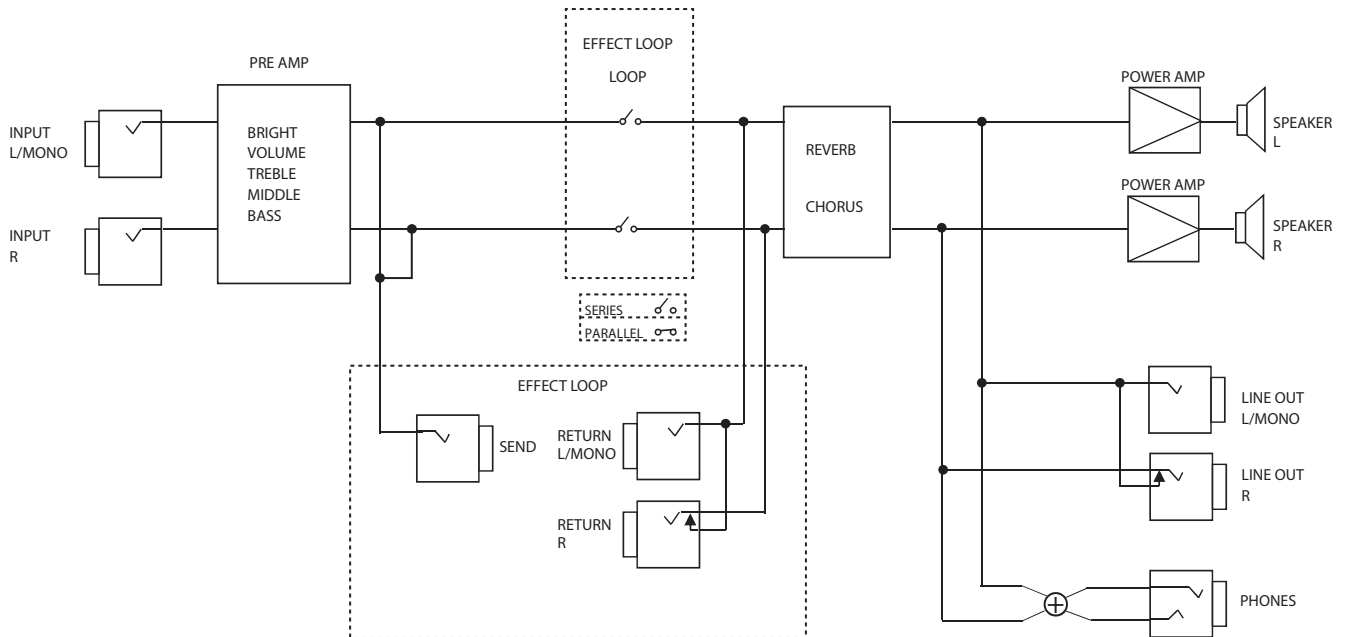
https://roland.cm/boss_support



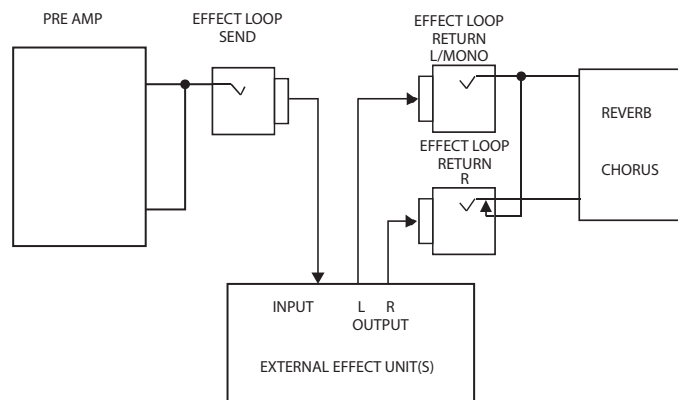
'21.04.01 現在

Block Diagram

JC-22 Block Diagram



EFFECT LOOP (series)



EFFECT LOOP (parallel)

